

博士前期課程(修士) / 助産看護学領域 / 助産看護学分野科
目コード:280005

助産実践実習Ⅱ(ハイリスク・継続)

Midwifery PracticumⅡ (High-risk・Continuing nursing)

担当教員	曾山 小織、亀田幸枝、河合美佳				
実務経験					
開講年次	2年次前期	単位数	2	授業形態	実習
必修・選択	選択	時間数	90		
該当ディプロマ・ポリシー	(1)	(2)	◎	(3)	○
Keywords	ハイリスク妊産褥婦、ハイリスク児、緊急時の対応、母体搬送、チーム医療、多職種・地域との連携、継続事例、MFICU、NICU、GCU				
学習目的・目標	1. ハイリスク状態にある母子を身体的・心理的・社会的側面から捉え、異常状態を回復し正常な状態を促進させるケアを実践できる。 2. 起こりうる異常・緊急状態とその時にとるべき行動を想定し、母子やその家族へのケアを実践できる。 3. ハイリスクな対象を医療チームの一員として継続的・総合的に捉えてケア・支援し、多職種や地域との連携・協働および助産師としての役割・責務について説明できる。				
授業計画・内容					
回	内容	授業方法	担当		
	<p>MFICU／産科病棟実習</p> <ul style="list-style-type: none">* 妊娠期・分娩期・産褥期において一組のハイリスク妊産婦(切迫流産や妊娠高血圧症候群等)を受け持ち、継続的に捉えた助産過程(観察・アセスメント・助産診断・計画立案・実施・評価)を展開できる。* 緊急時の場面で(母体搬送、救急蘇生や救急時(異常出血、新生児の蘇生等))の場面で、医療チームの一員としてとるべき行動を理解し、実践を学ぶ。* 多職種連携・カンファレンス・保健相談等への参加を通して、ハイリスク妊産褥婦への継続的・総合的支援のあり方を実践的に理解する。 <p>NICU／GCU実習</p> <ul style="list-style-type: none">* ハイリスク児とその家族について多角的に捉え、ファミリーケア・母乳育児支援・デベロップメンタルケア・多職種連携等について理解する。	実習	曾山 亀田 河合		
教科書	各種講義で使用したテキスト				
参考図書等	随時紹介する				
評価方法・基準	評価はポートフォリオ(実習記録・自己学習資料等)、実習態度等から総合的に判断する。				
関連科目	助産診断・技術特論演習Ⅰ(概論・妊娠期)、助産診断・技術特論演習Ⅱ(分娩期)、助産診断・技術特論演習Ⅲ(産褥期・新生児期・乳幼児期)、助産診断・技術特論演習Ⅳ(ハイリスク)、助産実践実習Ⅰ-1(正常・継続)、助産実践実習Ⅰ-2(正常)、地域母子保健特論				
教員から学生へのメッセージ	ハイリスクな妊産褥婦・新生児への助産ケアは、高度な知識・判断力・対応力が求められる実践の場です。本実習では、MFICU/産科病棟およびNICU/GCUの見学・受け持ちを通じて、複雑な状況における助産診断・ケア計画の立案・実施・評価のプロセスを主体的に学んでいきます。一つひとつの事例と真摯に向き合い、根拠に基づいた思考と判断を積み重ねてください。ハイリスク事例との関わりは、あなたの助産実践の幅を大きく広げる貴重な学びとなるでしょう。				